

I データ集

4. 家庭教育支援の効果

平成 23 年度

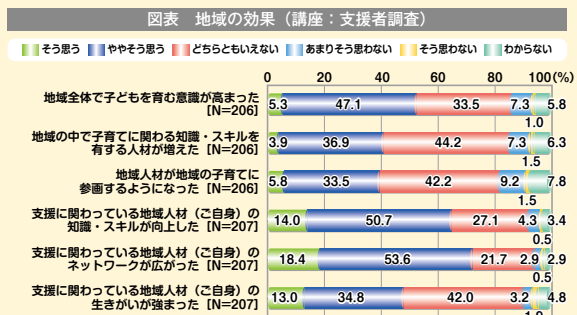
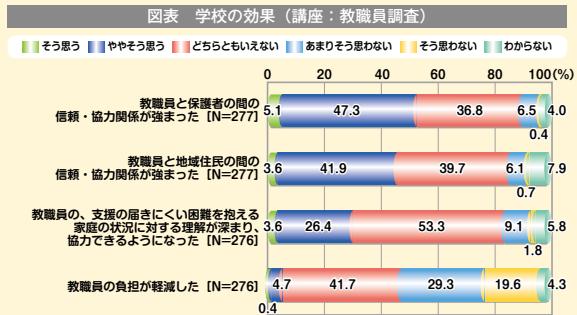
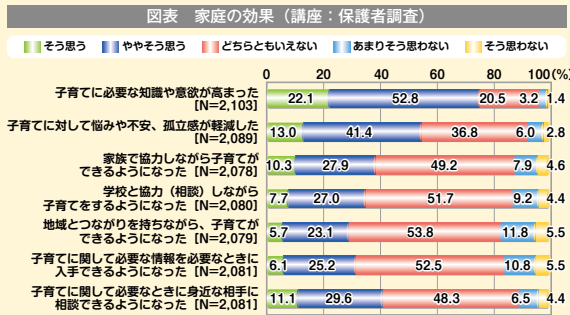
「家庭教育支援の効果に関する調査研究」より抜粋

(1) 学習講座型支援	56
(2) チーム型支援	57
(3) 「早寝早起き朝ごはん」運動	60

(1) 学習講座型支援

学習講座型支援による家庭や学校、地域への効果

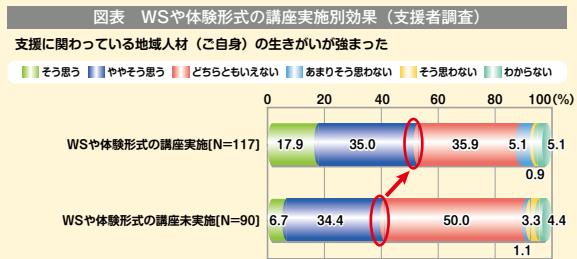
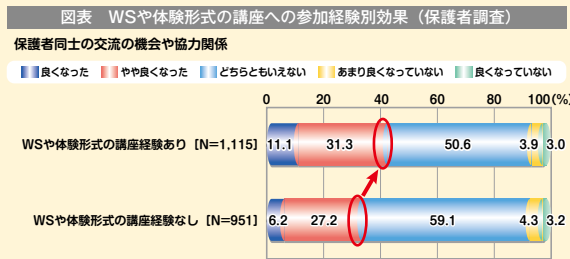
■家庭教育学校などの「家庭教育に関する学習機会の提供」を通じて家庭や学校、地域には以下のような効果がみられた。



平成23年度「家庭教育支援の効果に関する調査研究」より

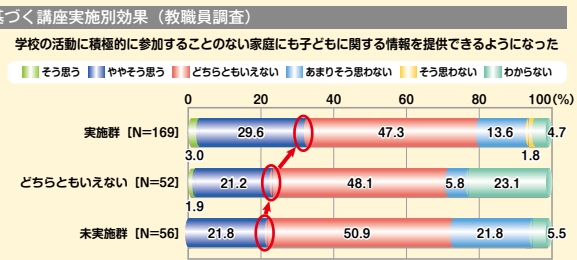
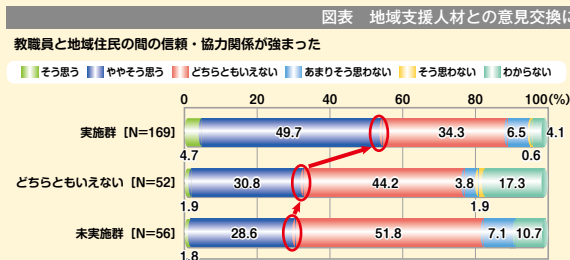
取組の工夫(ワークショップや体験形式)による効果

■「ワークショップ (WS) や体験形式など保護者が主体的に参加できる」内容の講座は、そうでない講座に比べ以下の傾向がある。



取組の工夫(地域支援人材との意見交換による企画)の効果

■「企画・実施時に地域の支援人材と定期的に意見交換を行っている」講座は、そうでない講座に比べ以下の傾向がある。



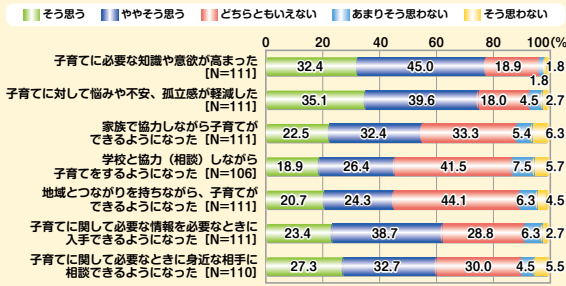
平成23年度「家庭教育支援の効果に関する調査研究」より

(2) チーム型支援

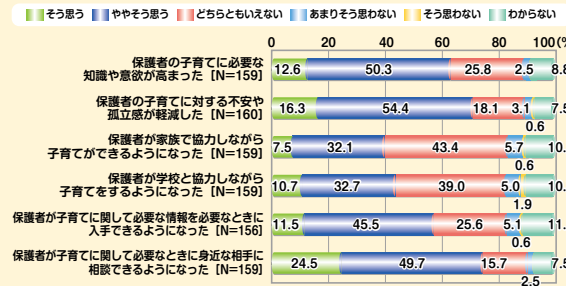
チーム型支援による家庭や学校、地域への効果

『家庭教育支援チーム』などのアウトリーチ型支援を通じて、家庭や学校、地域には以下のような効果がみられた。

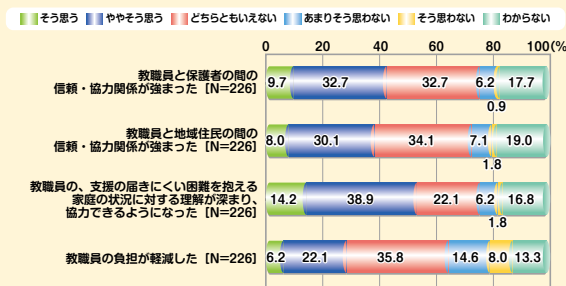
図表 家庭の効果 (チーム型：保護者調査)



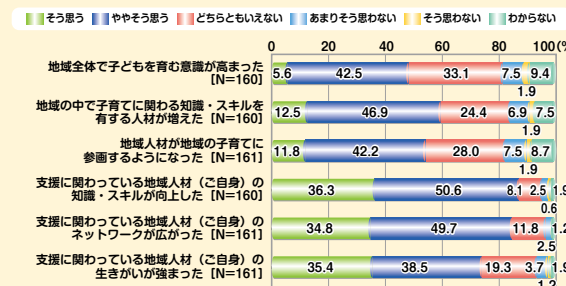
図表 家庭の効果 (チーム型：支援者調査)



図表 学校の効果 (チーム型：教職員調査)



図表 地域の効果 (チーム型：支援者調査)

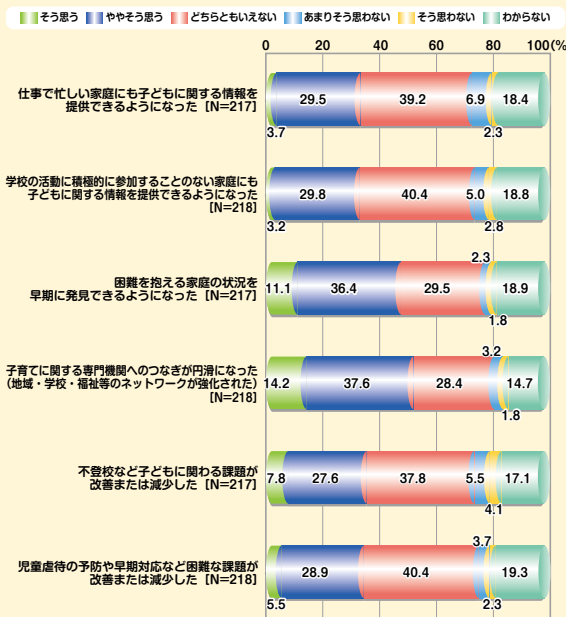


平成23年度「家庭教育支援の効果に関する調査研究」より

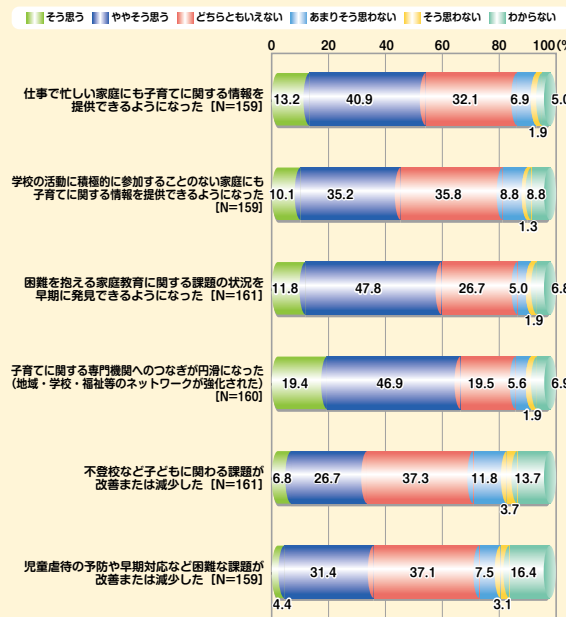
チーム型支援による問題の予防・解決への効果

『家庭教育支援チーム』などのアウトリーチ型支援を通じて、問題の予防・解決の効果には以下のような効果がみられた。

図表 問題の予防・解決の効果 (チーム型：教職員調査)



図表 問題の予防・解決の効果 (チーム型：支援者調査)



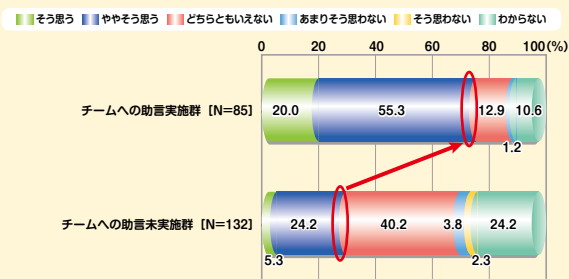
平成23年度「家庭教育支援の効果に関する調査研究」より

学校との連携(チームへの助言)による効果

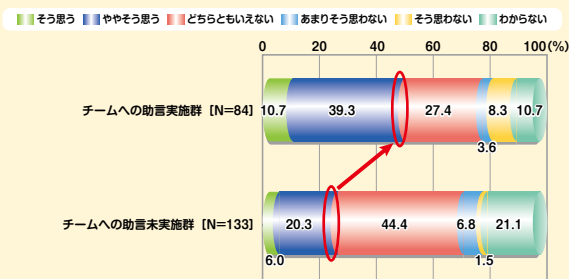
■「学校(教職員)の家庭教育支援チームへの助言」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。

図表 学校のチームへの助言の効果(チーム型:教職員調査)

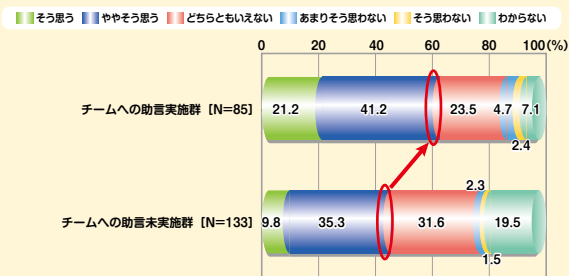
困難を抱える家庭の状況を早期に見えてきたようになった



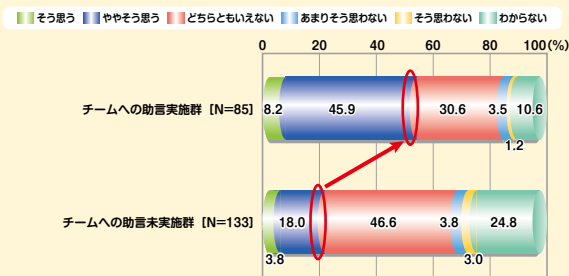
不登校など子どもに関わる課題が改善または減少した



子育てに関する専門機関へのつながりが円滑になった(地域・学校・福祉等のネットワークが強化された)



児童虐待の予防や早期対応など困難な課題が改善または減少した



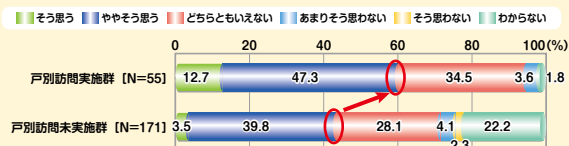
平成23年度「家庭教育支援の効果に関する調査研究」より

学校との連携(戸別訪問同行)による効果

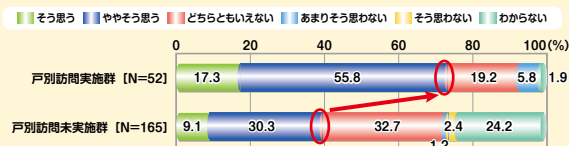
■「学校(教職員)の戸別訪問への同行」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。

図表 学校の戸別訪問同行の効果(チーム型:教職員調査)

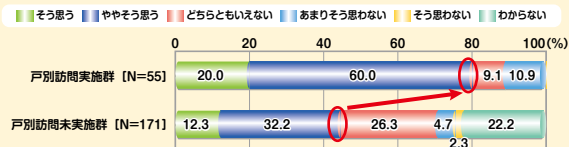
保護者の子育てに関する悩みや不安、孤立感が軽減した



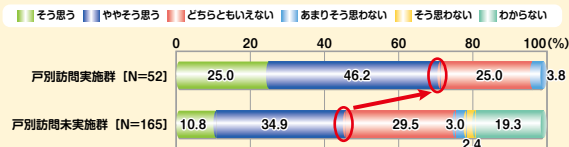
困難を抱える家庭の状況を早期に見えてきたようになった



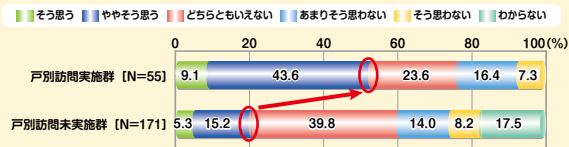
教職員の、支援の届きにくい困難を抱える家庭の状況に対する理解が深まり、協力できるようになった



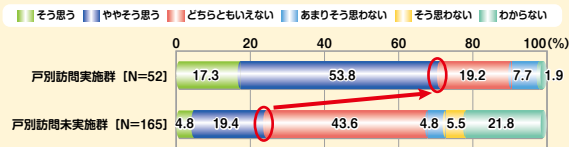
子育てに関する専門機関へのつながりが円滑になった(地域・学校・福祉等のネットワークが強化された)



教職員の負担が軽減した



不登校など子どもに関わる課題が改善または減少した



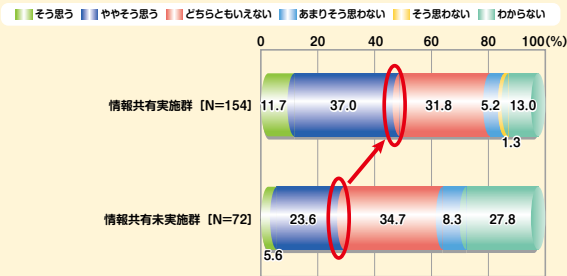
平成23年度「家庭教育支援の効果に関する調査研究」より

学校との連携(情報共有会議)による効果

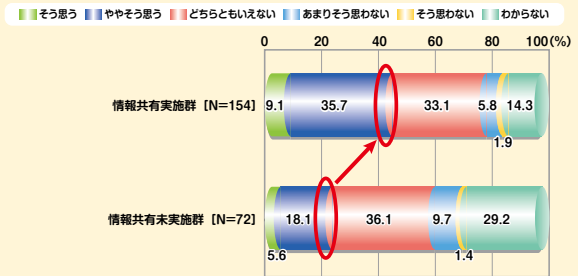
「教職員やチームでの情報共有会議」を行っている取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。

図表 情報共有会議の効果(チーム型:教職員調査)

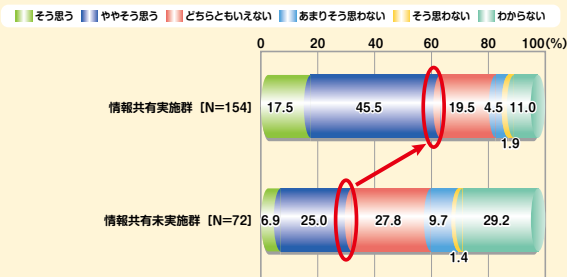
教職員と保護者の間の信頼・協力関係が強まった



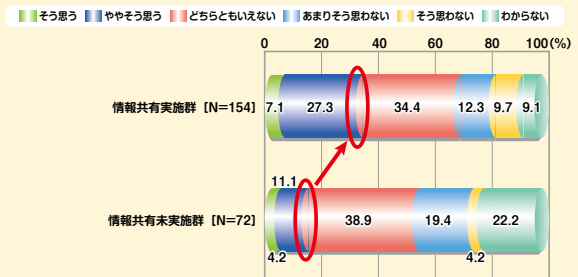
教職員と地域住民の間の信頼・協力関係が強まった



教職員の、支援の届きにくい困難を抱える家庭の状況に対する理解が深まり、協力できるようになった



教職員の負担が軽減した



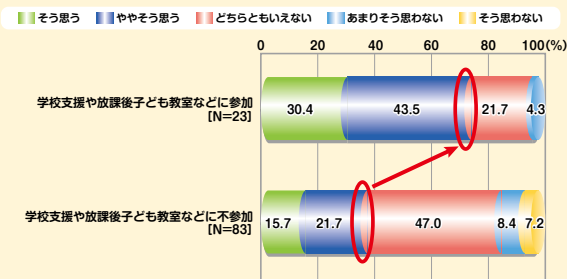
平成23年度「家庭教育支援の効果に関する調査研究」より

チームの学校支援や放課後子ども教室への参加による効果

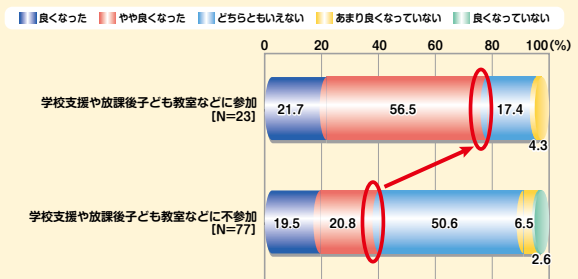
「チームが学校支援や放課後子ども教室などにも参加し、子どもとの交流を深めている」取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。

図表 学校支援や放課後子ども教室との連携効果(チーム型:保護者調査)

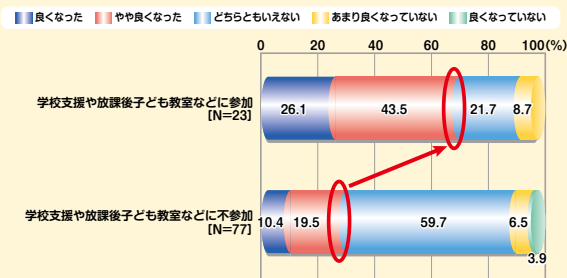
学校と協力(相談)しながら子育てをするようになった



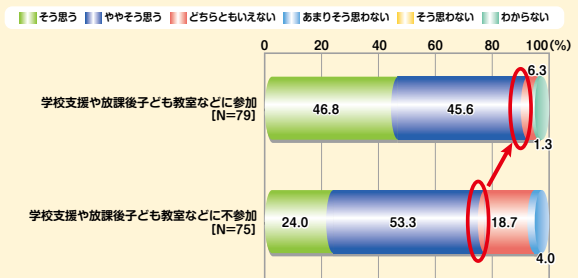
日頃からの子どもについての先生との情報共有



保護者同士の交流の機会や協力関係



支援に関わっている地域人材(ご自身)のネットワークが広がった



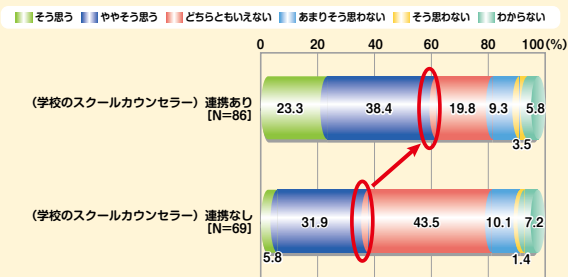
平成23年度「家庭教育支援の効果に関する調査研究」より

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携による効果

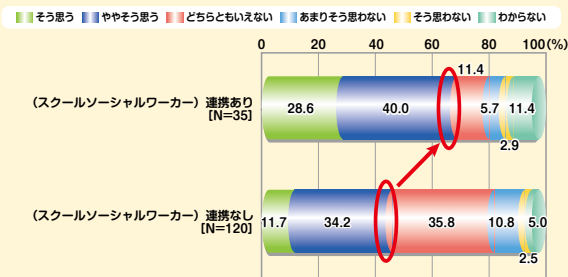
■ チームが「スクールカウンセラー」や「スクールソーシャルワーカー」と連携している取組は、そうでない取組に比べ以下の傾向がある。

図表 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携効果（チーム型：支援者調査）

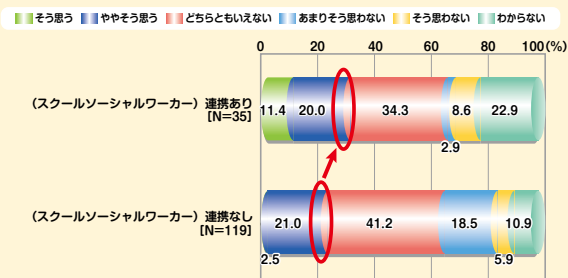
教職員が、支援の届きにくい困難を抱える家庭の状況を一層理解し、協力できるようになった



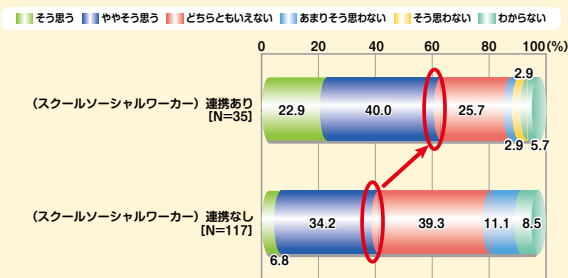
教職員が、支援の届きにくい困難を抱える家庭の状況を一層理解し、協力できるようになった



教職員の負担が軽減した



学校の活動に積極的に参加することのない家庭にも子育てに関する情報を提供できるようになった



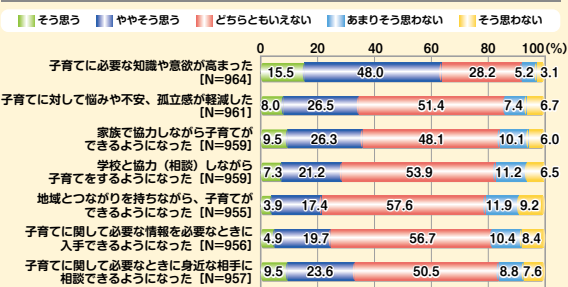
平成23年度「家庭教育支援の効果に関する調査研究」より

(3) 「早寝早起き朝ごはん」運動

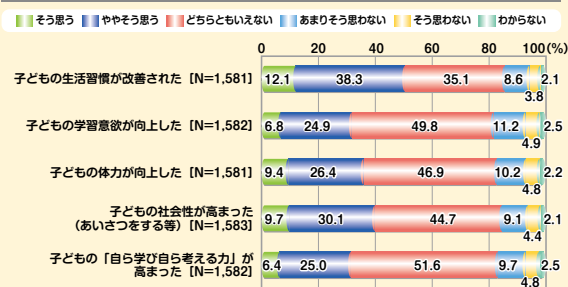
(3) 「早寝早起き朝ごはん」運動に関する効果

■ 「早寝早起き朝ごはん」運動を通じて、家庭や学校、地域には以下のような効果がみられた。

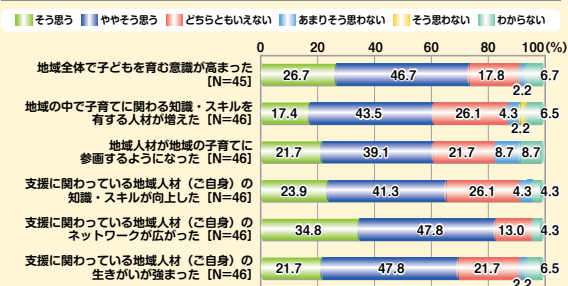
図表 家庭の効果（早寝：保護者調査）



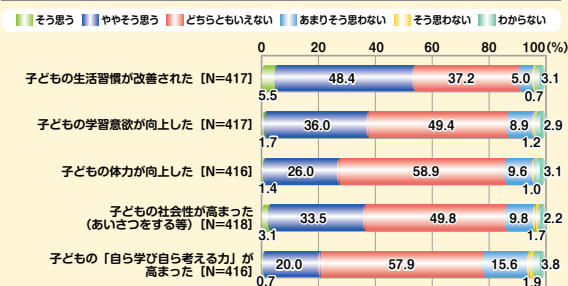
図表 子どもの効果（早寝：保護者調査）



図表 地域の効果（早寝：支援者調査）



図表 子どもの効果（早寝：教職員調査）



平成23年度「家庭教育支援の効果に関する調査研究」より